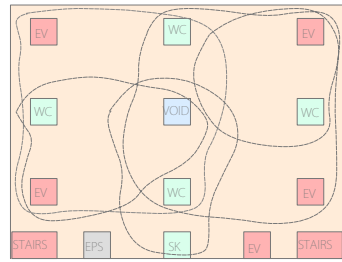


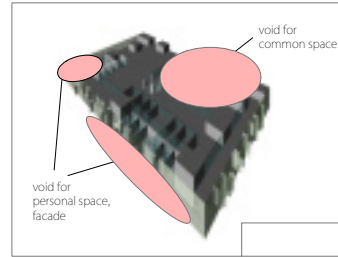
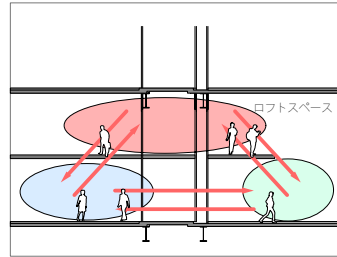


# PLATFORM FOR THE BEGININGS

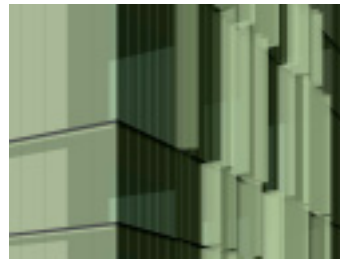
都市社会の近代化の中で発展を遂げてきた従来のオフィス空間には機能性・効率を追求した様々な空間的要素が凝縮されている。と同時に、決まった時間に決まった場所で働ための、均一で無機質な空間を生み出しやすいという弊害と背中合わせでもある。しかし、声高に叫ばれるワークスタイルの変化にただ追従するだけで、果たしてこれからのオフィスのあるべき姿が見出せるのだろうか。従来のオフィス空間が持つメリット、すなわち、そこにはあるテナントがある程度の自由を持って空間を利用できるという、いわば「空間の平均値」が意味するところを再解釈を試みる。本計画では様々なアクティビティを許容しうる空間の特性に着目し、従来のワークスペースを変化させようとする要素として、「特化した空間スケール」を持ち込む。ここでいうスケールとは寸法モジュールのことではない。すなわち劇場空間、図書空間、学校、住宅、カフェなど特定の空間を持つ、アクティビティを発生させる空間的要素を意味する。この空間に挿入される様々な空間的スケールが特定のアクティビティに於ける人の活動をモジュールとし、それらを混在させることが人と人とのスケール感を変化させようとするものであると仮定するならば、生活の一部としての性格を強めていくであろうこれからのワークスタイルに対応した新しい空間を生み出すPLATFORMとなるのではないだろうか。



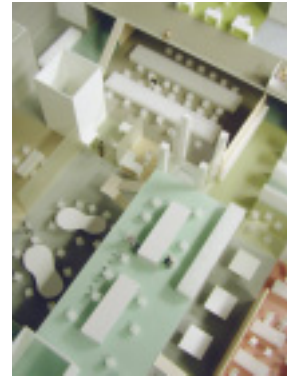
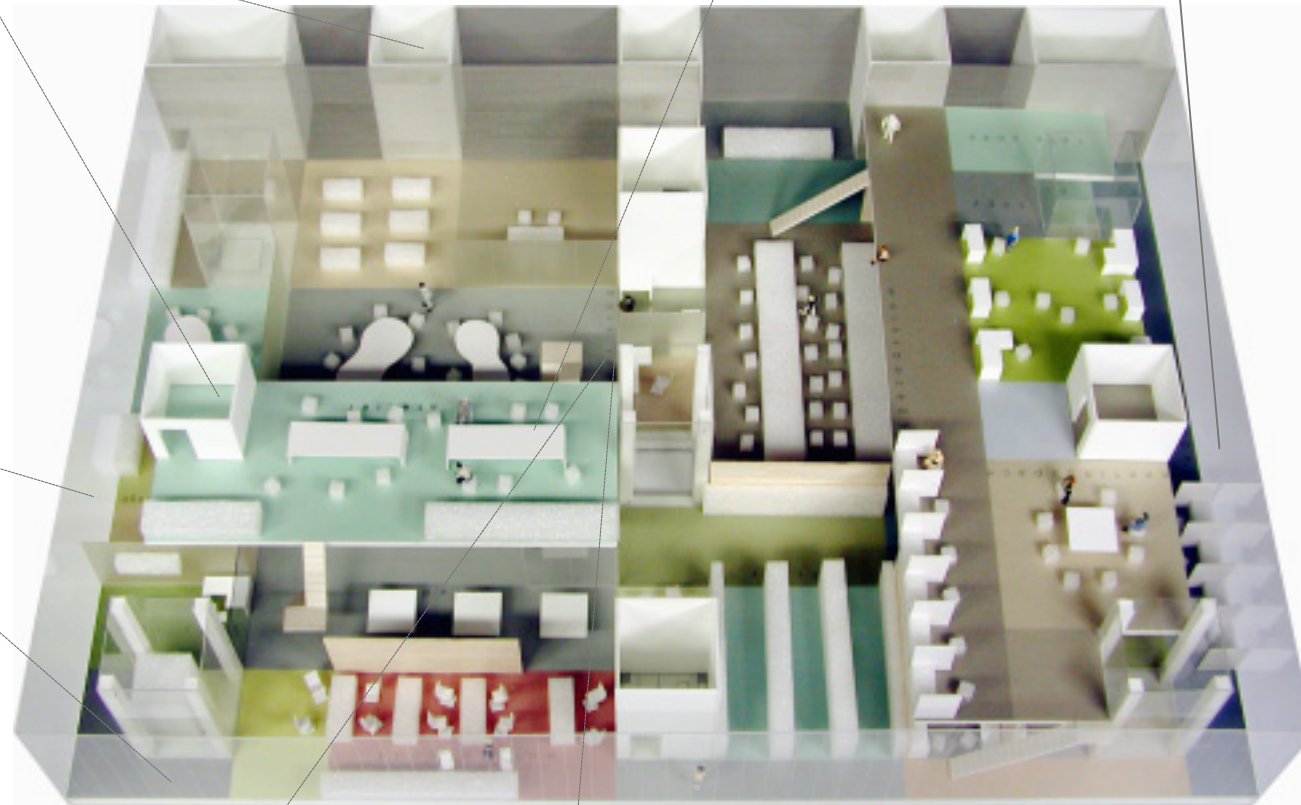
コアのタイプを分散型とする。コアは柱・耐力壁・ガラス・PS等で構成され、ひとつの構造ユニットとしても機能する。これによりオフィスの外周部分を林立する柱から開放し、同時に従来の集中型コアのような裏表のある空間構成からの脱却を図る。



従来のオフィスの機能性のみ束縛されない、複数の階高による断面構成を試みる。ロフト空間・ヴォイド空間をつくることにより、2~3層でのテナント貸しをより豊かなものにし、立体的なワークスペースの構築を可能にする。同時に、様々なアクティビティを包含するヴォリュームを生み出すことができる。



北・東・西面ファサードは開閉可能な一軸回転のガラスユニットによって構成される。内部の空間機能に呼応して開放・閉鎖される透明な皮膜は、周辺環境に対して内部のアクティビティを伝えるとともに、内部の活動に対応した表情を都市に見せることになる。



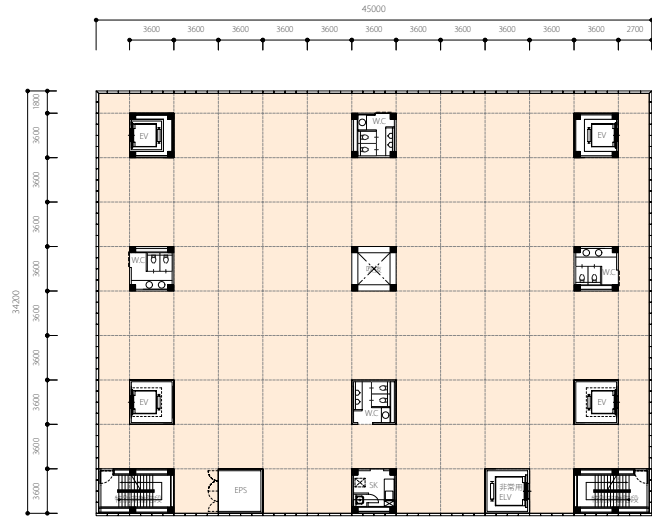
様々な人と人との距離感、すなわちスケールを内包する空間の重なりが、従来のオフィス空間にあらたな空間性をもたらす。



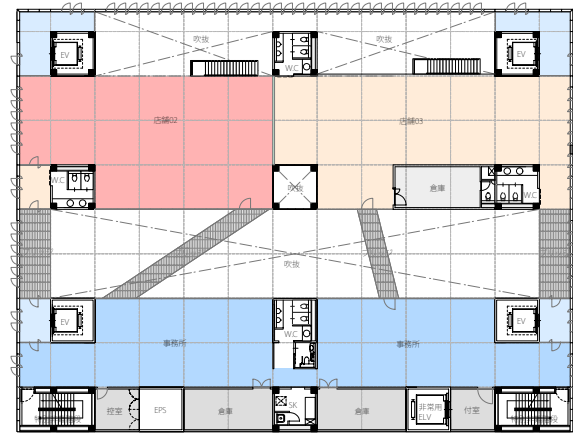


■O.O.S(Out Of Office Scale)

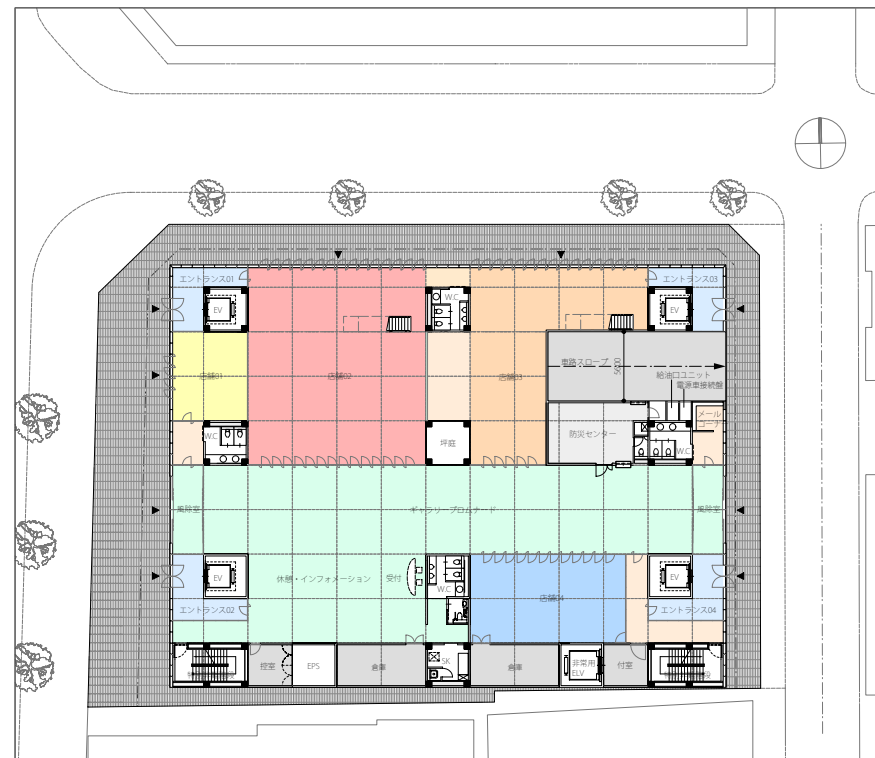
これからのオフィスは公共施設であり、また大きな家であるとする。  
 今までのオフィスが持っていたスケールとプログラムを一度リセットし、  
 学校や図書館、シアター、住宅、文化センター等のプログラムを展開可能な  
 新しい柔軟なスケールをつくる。



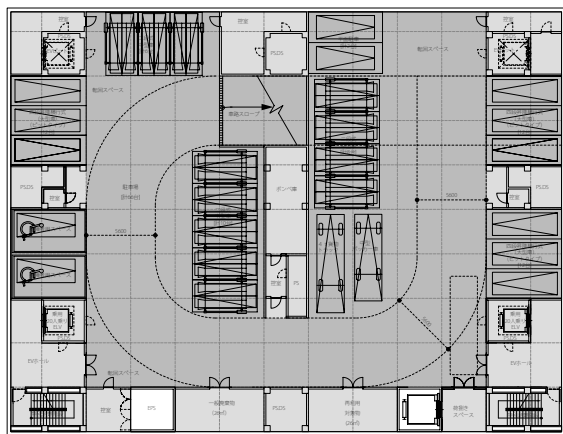
基準階平面図 1/300



2階平面図 1/300



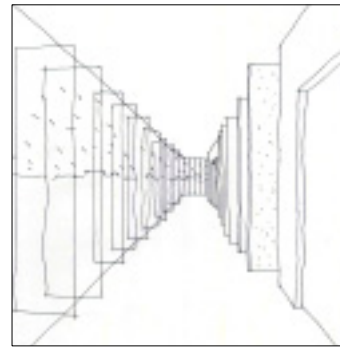
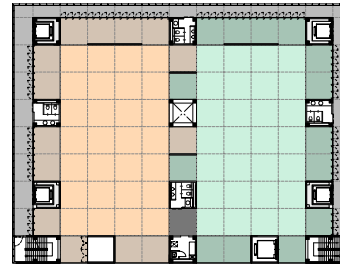
1階平面図 1/300



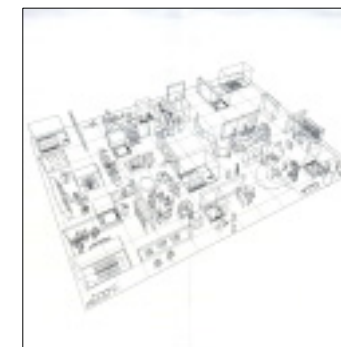
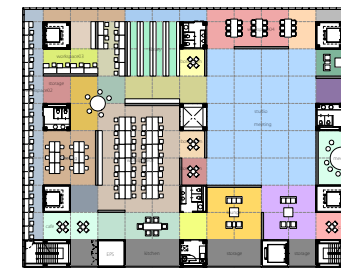
B1平面図 1/300

■周辺との関係  
 1階中央には東西に抜ける2層吹き抜けのギャラリープロムナードがある。  
 1、2階には飲食店やオフィスが入り、プロムナードを介して活気のある  
 集客を促す。道に面する3方面は地でも入ることができるマチに対して透過  
 性の高い構成となっている。

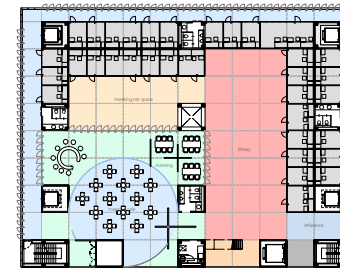
■2社共存回廊タイプ  
 周囲に回廊を設けることでコアへのアクセスを  
 等価に扱い1フロアを均等に2分割して賃すこ  
 とが可能



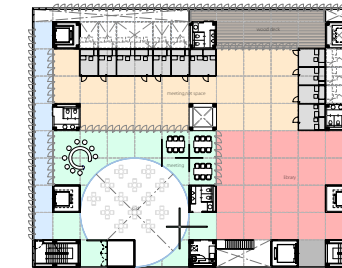
■1フロアランダムタイプ  
 一社の中で複数の同時稼働専門分野がある  
 企業に向く。全体をランダムな壁で仕切り  
 つつも全体が連続していることにより各々  
 のアクティビティの活気が交錯する。



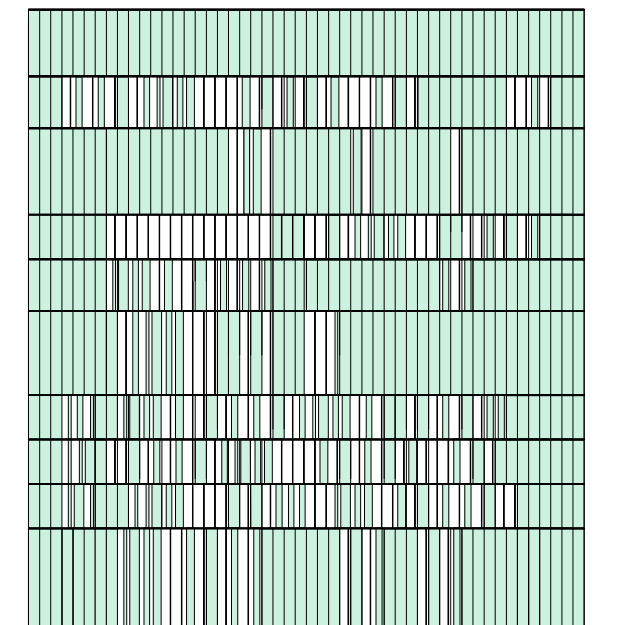
■インタラクティブSOHOタイプ 1F  
 個室群と情報ライブラリーとオープンな  
 カフェを2フロアに展開。個室で自分の  
 仕事に集中するもよし、ライブラリーで  
 コミュニケーションをとるもよし。新し  
 い仕事が生まれる可能性が高まる。



■インタラクティブSOHOタイプ 2F  
 窓際の個室群は2層吹き抜けがあり、上下階を  
 それぞれに等価に外部の風景を届ける。個室にア  
 クセスする外周の回廊はコミュニケーションの  
 場ともなる。



南北方向断面図 1/300



北側立面図 1/300